

シンガポール取引所(SGXL)

2018/6期3Q(1-3月)は21%の増益、テクノロジー関連の設備投資に6,000-6,500万SGDを投じる計画

シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2018/6期3Q(1-3月)は、売上高にあたる営業収益が前年同期比9.6%増の2.22億SGD、営業利益が同14.5%増の1.17億SGD、純利益は同21.0%増の1.00億SGDとなった。
- 新しいデリバティブ取引やクリアリング・プラットフォームによるトレーディング時間延長などにより、世界的に市場参加者が増加。
- 2018/6通期の会社計画では、営業費用で4.10-4.20億SGDを見込み、テクノロジー関連の設備投資に6,000-6,500万SGDを投じる計画。

What is the news?

2018/6期3Q(1-3月)は、売上高にあたる営業収益が前年同期比9.6%増の2.22億SGD、営業利益が同14.5%増の1.17億SGD、純利益は同21.0%増の1.00億SGD。リクイディティ・プロバイダー(証券会社)を積極的に取り込み、投資家へのサービス提供に注力。証券とデリバティブの両部門での取引件数が増加した。新しいデリバティブ取引やクリアリング・プラットフォームによるトレーディング時間の延長など、様々な金融商品や立ち合い取引を通じて世界的に市場参加者が増加した。

セグメント別の営業収益は、構成比49%の株式・債券業務は同4.7%増の1.07億SGD。同業務のうち、発行サービス収入が同7.9%増の2,052万SGD。株式・債券など上場に伴う収入が、債券の新規上場が前年同期の189銘柄に対し291銘柄と増加したことなどから同9.5%増の1,375万SGDと伸びた。有価証券トレーディング・クリアリング収入は同11.6%増の6,174万SGD。株式の1日あたりの平均売買代金は同16.9%増の14.5億SGD、売買代金合計額は同14.8%増の899億SGDとなった。ポスト・トレード・サービスは同10.8%減の2,561万SGD。構成比41%のデリバティブ業務は営業収益が同20.4%増の9,045万SGD。株式及びコモディティの約定は同34.3%増の5,351万枚となった。主にSGX FTSE China A50先物、Nikkei 225先物、SGX Nifty 50先物など各指数の取引やボラティリティーの高まり、現物市場の取引が拡大した。構成比11%のマーケットデータ&コネクティビティは、営業収益が同2.2%減の2,388万SGD。

How do we view this?

同社は、世界的な経済成長に伴い、中央銀行が金融引き締めを進め、投資家はポートフォリオの見直しを進めると見ている。投資家によるポートフォリオのリスク管理の見直しに伴い、市場取引がより活発化することを見込んでいる。同社はマルチ・アセット・オフアリングの構築を継続し、国内外の顧客へのサービスやマーケティングの充実を図っていく意向である。2018/6通期の会社計画は、営業費用で4.10-4.20億SGDを見込み、テクノロジー関連の設備投資に6,000-6,500万SGDを投じる計画である。2018/6通期の市場予想は、営業収益が前期比6.3%増の8.50億SGD、当期利益が同9.7%増の3.72億SGDである。

業績推移

※参考レート 1SGD=81.55円

事業年度	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6F	2019/6F
営業収益(百万SGD)	778	818	800	850	828
純利益(百万SGD)	348	349	339	372	396
EPS(SGD)	0.33	0.33	0.32	0.35	0.37
PER(倍)	22.67	22.67	23.38	21.37	20.22
BPS(SGD)	0.91	0.92	0.97	1.03	1.09
PBR(倍)	8.22	8.13	7.71	7.26	6.86
配当(SGD)	0.28	0.28	0.28	0.30	0.32
配当利回り(%)	3.74	3.74	3.74	4.01	4.28

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.30** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **7.48** 2018/7/23

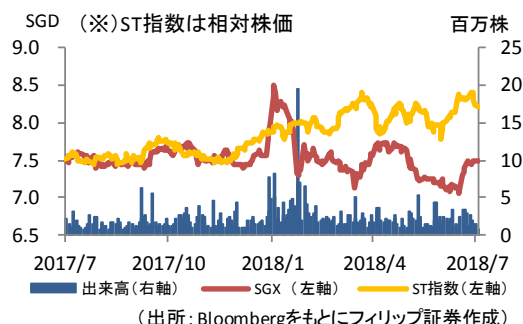
会社概要

1999年設立。シンガポール国内の証券およびデリバティブ商品を扱う。取引所、クリアリングハウスを所有、運営する。金融市場関係者に対して補助的な証券処理業務、情報サービスを提供する。上場株式の40%、上場公社債の75%がシンガポール以外の海外企業が発行体であり、アジアで最も国際化が進んでいる取引所である。

中国、インド、日本、アセアンの株式インデックスでは世界で最も流動的なオフショア市場であり、コモディティ・デリバティブや通貨デリバティブも提供している。信用格付けはAAA格で、リスク管理と清算機能は世界的に評価される。

企業データ(2018/7/24)

ベータ値	0.77
時価総額(百万SGD)	8,015
企業価値=EV(百万SGD)	7,215
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	14.9



主要株主(2018/7)

1.SEL HOLDINGS PTE LTD	23.36
2.Vanguard Group Inc	2.03
3.ブラックロック	1.67

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

+81 3 3666 6980

hiroki.ihara@phillip.co.jp

シンガポール取引所(SGXL)

2018年7月24日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。